

北海道神宮神饌田拔穂祭

北海道神宮に奉納する神饌田の拔穂祭が9月11日、三田与志勇さん(東2号北1番地)の水田で古式ゆかしくとり行われました。五穀豊穣に感謝する祝詞や神楽と舞いが行われたあと、町内外の関係者が見守るなか、かすりの着物にすげ笠姿に身を包んだ12人の早乙女と烏帽子(えぼし)姿の6名の介助役が水田に入り、歌に合わせ稲穂を1株1株ていねいに刈り取り、介助役が束ねていきました。大雪山の清らかな源水で育った神饌田の「ほしのゆめ」は脱穀・乾燥した後、新嘗(にいなめ)祭に納められ、1年間の神事に用いられます。



美しい風景づくり賞決定

美しい風景づくりへの関心を高めるため、町民の皆さんを対象に、美しい風景づくりに貢献していると思われる個人住宅、事業所や住民活動など受賞候補を調査しました。審査は美しい東川の風景を守り育てる審議会(会長藤田裕三 10人)で行い、次のおり受賞者が決定し、9月26日に役場大会議室において表彰式を行いました。表彰式には町議会議員や審議会の委員など約30名が集まり、受賞対象となった住宅地などの写真に見入っていました。受賞された方々は、「町から表彰してもらえると光栄です。これからも頑張りま



堤 幸雄さん宅

個人の部
堤 幸雄さん(東8号北1)
櫻井琢磨さん(北町4丁目11 2)
木村昭治さん(西5号北35)
コタン・クルカムイ 代表 藤田祥さん
相和工房 代表 大箭利明さん(東町3丁目1 14)
団体の部
東川町市街地振興会(会長 朽木太一さん)
写真の町ひがしかわ花俱樂部(キャプテン 大石久子さん)

石狩川流域300万本植樹運動による記念植樹

石狩川流域の緑の保全・回復と、水源涵養、風水害防止を図ろうと、平成6年度から実践している「石狩川流域1人1本300万本植樹運動」が9月29日、忠別ダム上流の野花南地区にある高台(野鳥の森)で行われ、東川小、東川第一小、東川第二小の児童約80名が植樹を行いました。参加した児童は、前もって石狩川振興財団職員から説明を受けた「生態学的混播混植法」という植樹方法にもとづき、ミスナラやイタヤカエデ、ハルニレなど10種類の苗木を植える作業を行いました。この植樹方法は、いろいろな種類の苗や種を混播することによって、その場所の気候や土質などの条件にあったものだけが生き残り森をつくるという、新しい自然林再生法です。参加した児童は植えた苗が大きな樹木に成長し森をつくることを想像しながら、一本いっしょに大切に植えていました。



『みんなで応援!観戦!ファイターズ』開催

10月12日農村環境改善センターでプロ野球パ・リーグプレーオフ第2ラウンド第2戦北海道日本ハムファイターズ対福岡ソフトバンクホークスのパブリックビューイング(主催 東川町民が選ぶ月間MIP賞実行委員会)が開催されました。パブリックビューイングとは、テレビ放送等を通じて集団観戦を行うもので、当日は町内外より300名を超えるファイターズファンが会場に駆けつけました。入場者には、ひがしかわ産ほしのゆめの新米で作られたおにぎりがプレゼントされ、お楽しみ抽選会や選手への応援メッセージの寄せ書きコーナー、グッズの販売コーナーなどが設けられ観戦を盛り上げました。ファイターズの勝利によってパシフィックリーグ優勝、日本シリーズ進出が決まるなか、ファイターズ八木投手、ホークス斎藤投手と、両リーグを代表する投手による息詰まる投手戦が繰り広げられ、集まった観客からは好プレーのたびに歓声が沸きあがりました。ファイターズの稲葉選手のサヨナラ打により優勝が決まった瞬間は、会場が総立ちとなり絶叫とともに興奮と感動があふれていました。道民球団「北海道日本ハムファイターズ」が来期もリーグ優勝、そして日本一になれるよう、みんなで応援しましょう!



交通安全ローラー作戦実施

10月19日、町交通安全協会(藤田裕三会長)による「交通安全ローラー作戦」がおこなわれました。役員大会議室において、警察や交通安全協会役員・高齢者事業団交通安全サポート隊の皆様が参加して、交通安全事故の撲滅を願ったあと、3名ほどのグループを編成して、市街地中心部の主な家庭を訪問し、飲酒運転の悲惨な状況を示したパンフレットと夜光反射材の利用を促すチラシなどを手渡し、飲酒運転の撲滅と交通安全を呼びかけました。町内での死亡事故ゼロの日は平成17年8月5日から数えて現在(10月23日時点)まで45日続いているところです。しかし、「あやや」という事故は多発しております。皆さん一人ひとりが、12月17日の死亡事故ゼロの日500日を目指し安全運転を心がけましょう。



交通ルールを守って事故の無い安全な町